

言葉に敏感に！大切に！当事者として考える…

第9回 香川県教育研究集会開かれる

記念公演は、詩人「アーサー・ビナード氏！」



発行所
高松市田村町1033-3
TEL (087) 867-4797
FAX (087) 867-6446
香川県教職員組合
定価 1部50円 1月100円
【組合員の購読料は組合費に含む】

香教組ホームページ

http://kakyoso.com/

12月19日(土)
9:30~
第10回
中央委員会
を開催します。



堪能な日本語で語る
アーサー・ビナード氏

11月8日(日)香川大学教育学部で「第9回香川県教育研究集会」が行われました。大学・高等学校・小中学校の教職員が校種を超えて、日ごろの実践を交流しました。講演会では「子どもの未来 日本語の未来」について詩人アーサー・ビナード氏から、日本の現状分析を踏まえながら多くを学びました。

視野が広がった分科会

午前中は、5つの分科会に分かれ、学級づくりや授業づくりの実践、職場環境の改善に向けての運動の様子、今日の教育課題などについて話し合いました。ある小学校教員からは、「日ごろは、あまり話すことない種類の違う教職員が、今の子どもたちの様子や職場の様子を知ること、見通しをもった実践ができる」との声がありました。また、高校の教員は、「小学校での子どもたちへの丁寧なかわり方は、今困っている子どもたちの対応にも生かすことができそうだ」と話していました。

あるベテラン教員は、青年のレポート発表を聞き、「教師として考えるには、青年のレポートが例年より多く発表されました。「大変忙しく、実践をレポートにまとめるのは大変でしたが、まとめてみて、初めて、よかったことからの課題がはっきり見えしました。みなさんからの意見は、これからの実践のヒントになりました」と話した青年の充実感に満ちた表情が印象的でした。

言葉に敏感になるには 当事者として考える！

午後は、「子どもの未来、日本語の未来ーアメリカから来た詩人が、ことばと子どもたちの未来を考えるー」と題し、詩人アーサー・ビナード氏の講演がありました。原発・広島平和宣言のスピーチ・憲法など具体例を通して、「そこに使われている『ことば』

をどうとらえるかによって、社会の見え方が変わってくる。「当事者意識をもち、考えていくからこそ『ことば』を大切にできる。当事者になれば、『ことば』に敏感になれる」「未来を語る前に、現実をもっとしっかりみつめよう。社会のさまざまな事象は『まやかしのことば』で表現されている」とビナード氏は語りました。

参加者からは、「社会で起こっていることに無関心だった自分がいたことに気づいた」「ひとつの『ことば』にこんなに含みがあるとは思っていませんでした」「さまざまなきことをきくと知ること『ことば』の感性は磨かれると思った」「どんなことばをもつて、未来を描いて教育に携わることが大切かを学んだ」などの感想が寄せられました。最後にビナード氏から次の詩が贈られました。

小板

SEALEDsが「民主主義ってなんだ？」
「これだ！」と訴えた▼横浜の公聴会では水上貴央弁護士が強行採決を「単なる多数決主義であって、民主主義ではない」と語った▼

民主主義ってなんだ？

時間かかる。つい、「多数決」をしたくなる▼国民の安心・安全な生活について話し合う国会はどうだろう。2015年は、「強行採決」の字が新聞上に躍った。「多数決」で無理矢理決定したということか。民主主義が「構成員の合意」が大前提であれば、私たちは、国民のことを第1に考える議員を選ぶ必要があるだろう。投票率が低いのも気になる▼選挙権が18歳に下がった。各地で高校生が、大学生が「戦争法反対」の集会を開いたというニュースが流れている。子どもたちが、社会に関心をもち始めたのは良いことだ▼さて、職員会議はどうだろう。トップダウン・物言えぬ雰囲気。子どもたちに「民主主義はこれだ！」と私たち教職員は胸をはれるか。

中国・四国・九州ブロック

青年教職員学習交流集会のご案内

日時 11月28日(土) 13:00~
29日(日) ~13:00 (宿泊あり)

場所 坂出グランドホテル
中野うどん学校琴平
金毘羅さん

全体講演「あじの里地域生活支援センター」
センター長 草原比呂志氏

「私の支援はエンドレス
-今、教育現場に期待すること-」

分科会 ① 特別支援教育
② 戦争体験を語り継ごう
③ SST・エンカウンター実践講座
④ 保護者対応について学ぼう

参加費無料 どなたでも参加できます。

歯みがきをするように社会のことを考えよう!

STOP伊方原発再稼働! 11.1全国集会in松山



「歯みがきするように社会のことを考えよう!」と語るおしどりマコ・ケンさん

原発にふれてきたことで、さまざまな圧力がかかってきたとマコさん。「全国で売れていないこんな小さな存在でも」と謙

想定外に動くことが力になる

11月1日、松山市城山公園で全国から4000名が参加し、「STOP伊方原発再稼働! 11.1全国集会」が行われました。香川県教職員組合も、集会に参加し全国の仲間とともに、「伊方原発再稼働反対!」の声をあげました。

10月26日に愛媛県知事が再稼働に同意した直後でもあり、全国各地から4000名が参加し、「再稼働を許さない!」と熱のこもった集会になりました。

「原発再稼働反対!」についてのリレートークとともに、よしもと芸人「おしどりマコ・ケン」のトークライブが行われました。「まんざい」でありつつ、原発の危険性を見抜く科学の目と読書の幅の広さを感じさせる内容からは、「原発再稼働について」「社会問題について」改めて「知ろうとすることの大切さ」「無関心であることの怖さ」が伝わってきました。



「原発再稼働 ゆるさん!」と訴える参加者

遜しながら、公安調査庁の人に「なぜ?」と思ひ、臆することなく逆にインタビューしたところ、その想定外の動きに驚きいなくなつたとか。「想定外の動きをする人は苦手」「想定外に動くことは強い」「一人では無理やで!といわれたとき、そうだ! 想定外の一人が100人集まれば1年でできるやないか、と思った」とマコさんは語りました。

無関心が一番怖い!

マコさんは続けます。「今、日本では情報がOPENにされていない。国民が関心をもって情報を出すように言わなければならぬ」「歯みがきしなければ虫歯になるように、社会のこ

とを考えなければ悪い方へ変わってしまう」最後に、「おかしいとおもうことには声をあげよう」と呼びかけました。

すべてはつながっている

「平和安全法制(戦争法制)」「原発再稼働」「TPP」「消費税」「年金問題」「環境問題」など私たちを取り巻く社会問題はたくさんあります。それぞれを理解しようと思っても、あえてわかりにくくなっているため、時間もかかります。そのうち、忙殺され少しずつ関心も薄れていきます。「どうせ」「言ってもムダ」と思わずに、「あきらめずに」「粘り強く」取り組んでいくことが大切。私たち国民の生活は、自分たちで守っていかねばならない時代がきたとマコさんは繰り返して語りました。

青年部企画

そうだ! クリスマスケーキを作ろう!!

今年もやります!

日時 12月23日(水) 13:00~
場所 香教組会館2階
参加費 無料
どなたでも参加できます。

サークル(採用試験勉強会)のご案内

- 高松サークル… 香教組会館(リハビリセンター東)
11月17日(火) 12月1日(火) 12月22日(火) 19:00~
- 三豊サークル… 三豊教育会館(観音寺自動車学校の南側)
11月23日(月) 12月7日(月) 12月21日(月) 19:00~
- 丸亀サークル… 丸亀市生涯学習センター5階(ゆめ)
11月25日(水) 12月9日(水) 12月21日(月) 19:00~
- 大川サークル 津田教育会館
11月18日(水) 12月2日(水) 12月16日(水) 19:00~

参加費 資料代 100円
どなたでも参加できます。

全国寄宿舍指導員学習交流会in香川

2016年 7月30日(土) 31日(日)

第1回フェスタ

~生活を大切にする実践とは~

2015年12月20日(日) 10時~

講師 寄宿舍教育研究会副代表 西村京子先生
場所 かがわ総合リハビリテーション福祉センター

あまり知られていない、特別支援学校の寄宿舍。障害のある子どもたちにとって、集団の中で生活や人との関わり方を学ぶ場として大切な場所です。そこには、教育の原点があります。みんなで学びましょう。

参加費 無料 どなたでも参加できます